

経営比較分析表（令和2年度決算）

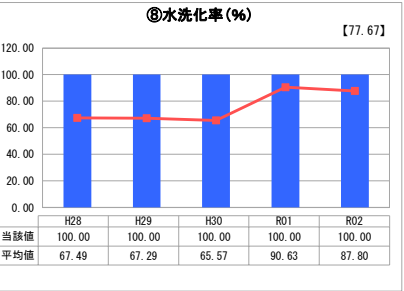
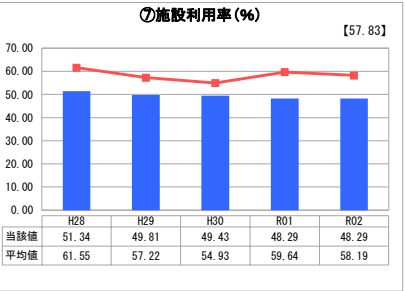
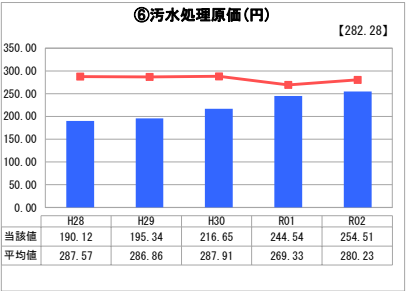
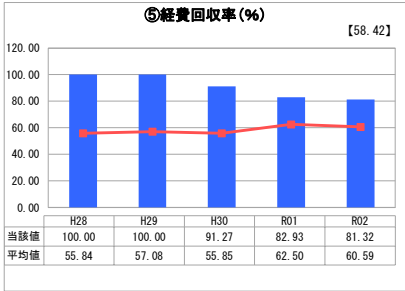
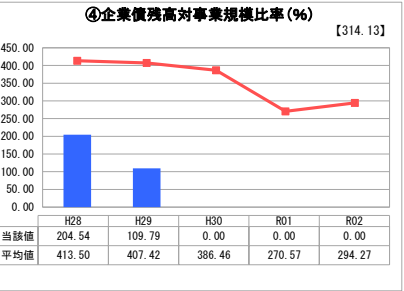
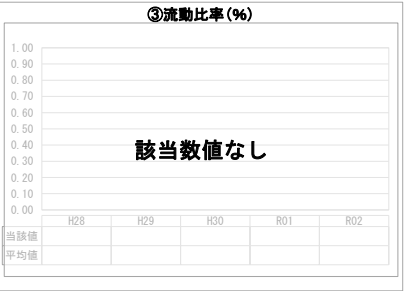
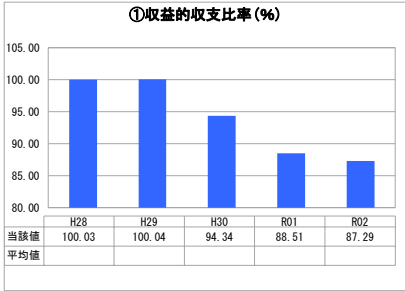
山形県 上山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	2.07	100.00	3,190

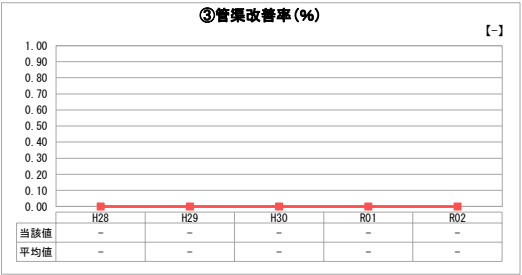
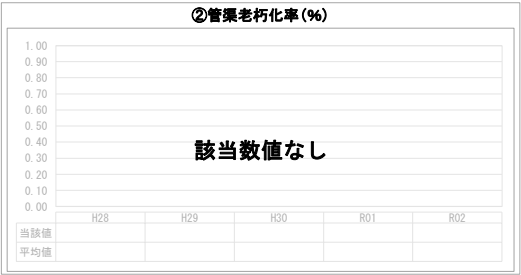
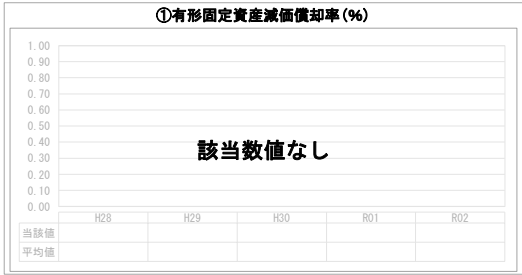
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
29,564	240.93	122.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
609	1.28	475.78

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益の収支比率、企業債残高対事業規模比率、経費回収率、汚水処理原価等の指標をみる限り特に問題はなく、健全な運営となっている。

一方、施設利用率をみると平均を下回っているが、これは対象地域において高齢化・過疎化が進み、少人数世帯の増加や転居等による休止も増加していることが影響していると思われる。またこのことから、老朽化による修繕費の増加と合わせて、収益の収支比率の低下傾向に影響しているものと推測される。

なお、使用料は浄化槽の規模別となっていることから、使用人数減による収入上の影響はない。

2. 老朽化の状況について

平成16年度整備事業開始により、約17年を経過の浄化槽もある。

維持管理業者と密に連携し、ブロワを含む駆動機器等の消耗品の不具合等については早急に対応するよう心がけているが、浄化槽本体や内部装置・配管接続部の不具合等も増加傾向にあり、不具合の状況・水質等を含め判断しながら、該当箇所の修繕を計画的に行っていく予定である。

全体総括

浄化槽の規模に応じた使用料を設定していることから、使用され続ける限り安定した収入が見込め、経営上特に問題がないと考えているが、休止により使用料収入が途絶える浄化槽も増加傾向にあることから、休止浄化槽への対応を抑えること、及び維持管理費用低減の工夫を進めるとともに、寄付受納による市管理浄化槽の現状数維持及び追加を進める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。